

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 芦屋はまゆう作成日: 平成 27 年 01 月 26 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議を活性化することが、ホームの運営にも反映してくるので、参加委員を知見者、有識者等、幅広く募り、会議に外部の目を通して参加して貰い、新鮮な風を通して会議の発展に繋げていく。	会議がホームの繁栄に限らず、地域の様々な問題や困難な事例等を検討して、解決していく場と捉え、地域の問題解決に向けて、参加者の協力をお願いし、地域福祉の拠点として取り組んでいく。	12ヶ月
2	42	食事を楽しむことの出来る支援	施設内厨房からの配食を利用しているので、利用者の希望の料理を取り入れることが難しく、美味しい料理を利用者に食べて頂くという意識を職員全員が自覚して、利用者の食欲増進と、健康の源になる食事作りを目指していく。	検食委員会を立ち上げ、毎回職員が交代で検食し、味、彩り、盛り付け、利用者に合わせて形状、器等をチェックし、厨房職員も検食委員会に出席し、現場を理解して貰い、利用者が満足出来る美味しい食事作りに取り組む。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。